

# 日本の竹ファンクラブ通信



## 竹林保全で持続可能な未来へ！

### 活動に参加してSDGsに貢献しよう

新年を迎え、未だ新型コロナウイルスの感染拡大が続き、正常化までには相当な時間を要するものと思われれます。今こそ活動の意義を振り返り、モチベーションを保ち、安定軌道の早期回復に努めたいと思います。

#### 1. 竹林保全とSDGs

最近、気候変動やSDGsという用語を目にするのが多くなりました。SDGs

(持続可能な開発目標)とは、貧困や気候変動、平和、

環境など世界が抱える課題に対処するため、国連が

定めた17の目標です。この

目標は、持続可能で安定した、より豊かな社会を作り

上げるため、地球に住むすべての人々の具体的な取

り組みを求めています。昨今は社会・経済活動の全

てがこの目標にどれだけ寄与するかで評価される

ようになってきました。PODの「森づくり活動」で見ると、17の目標の内、14

の目標達成に寄与するといわれています。

#### 2. 活動を通じてSDGs貢献

竹ファンクラブの活動は「竹林の保全と活用」を

ミッションに、竹林整備、環境教育、竹材利用、まち

づくり等の活動を行っています。この活動こそが

SDGsの求める「住み続けられるまちづくり」、「気候

変動に具体的対策を」、「陸の豊かさを守ろう」など14

の持続可能な開発目標と合致するのです。

環境保全活動を始めてから二十一年、意識せずとも

普段の活動が結果としてCO2の吸収、温暖化防

止、陸上生態系の保護回

復、持続可能な管理、土地劣化の阻止、生物多様性損

失の阻止、街中の緑化保全等、今日的な社会課題の解

決に貢献しているのです。

3. コロナに打ち勝つ

新型コロナウイルスの感染拡大で私たちの日常

は一変し、事業環境も激変しています。あらゆる活動

が制限され、モチベーションも低下しがちです。こ

う時こそ、今一度私たちの活動の目的、意義に思い

を馳せ、持続可能な未来に向け、活動を継続して行

きたいと思えます。皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

理事長 平石 眞司

## 小机城址支部

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、灯笼祭りの開催が危ぶまれましたが事務局の関係方面との折衝の上、諸条件を確認し開催を決定しました。

協力隊員や参加者の検温、作業前にコロナの感染防止の注意をして作業に入りました。有志によりマーキングされたものを伐りだし、加工場所への運搬と竹灯笼加工、そして会場へ運搬して設置し、作業を順調に終わらせることが出来ました。



時短をした活動でしたが、国際ボランティア学生協会や横浜桐蔭大学の皆さんの若い力にも助けられました。

担当：真板保昌

## 横浜国際プール支部

9月に竹林活動が再開し、コロナ禍のなか新しい日常となった14時迄の時短作業。長く伸びた下草が刈払い機と竹取協力隊員の力で整備が済みました。



10月は間伐をモウソウチク、マダケと進め11月はBリーグ開催の日となり横浜ビー・コルセアーズの相手はシーホース三河。昼から倉庫がある裏手の公開通路が賑わい始め我々は竹林での後方支援、竹垣補修材を確保し、改修予定箇所の竹垣撤去もできて万々歳しかし館内の熱戦は残念ながら海賊がタツノオトシゴに84:88で負けてしまいました。

担当：根岸秀行

## こどもの国支部

こどもの国の広い園内には竹林が点在しており、竹ファンが整備しているエリアは、サツカーや運動会などで利用される総合グラウンドを取り囲むマダケ林とハチク林、それに、サイクリングロード沿いの孟宗竹林など来園客が直接目にする竹林です。

四季折々に変化する樹木や花々などとともに三種の竹林の整備を楽しんでいます。



来年の干支は辛丑です。ぜひこどもの国線の、車内が牧場に彩られている「うしでんしゃ」に乗りこの竹林において下さい。

担当：丹治 薫

## 中井町支部



今年度は、新型コロナウイルスの影響で4・5月は活動出来ず、上期は6月までの予定でしたが、7月(2日間)迄延長しました。また、10月は周期的に雨が降る状況で、活動日数は少なくなりました。3年前に作成した竹垣、休憩用椅子の作成・修理をKさん、整備は協力隊により順調に進んでいます。

「竹林の間伐とみかん狩り」11月22日参加者24名、作業班3組・BBQ班に分かれ、間伐済の運搬をして頂きました。昼食は、BBQ班のご協力とYさんのご尽力を頂き、Nさんが興津川で捕ったアユの唐揚げ、Kiさん

が大磯の山で捕えた猪肉を頂きました。干物は秋刀魚・ホッケ・鱈を用意しました。みかん狩りは、今年も武井農園さんで、みかんの収穫と野菜の購入を行い、安価で購入でき、みかんは、1袋5キロ単位が、それ以上の量のみかんを頂きました。

今年も、皆様のご協力を頂き予定通り開催出来ました。ありがとうございました。



今年も、皆様のご協力を頂き予定通り開催出来ました。ありがとうございました。

担当：石川正壽

## 都筑折本

7、8月の活動休止期間を終え9月24日に活動再開。夏の間伸びた竹林への入口付近作業道、頂上の休憩

エリアの雑草処理を始め、その後は小屋の修理や枯竹伐りを実施。10月31日、11月3日は14日のイベント「親子で学ぶ竹林」の準備作業で枯竹や折損竹の伐採と処理を実施。



また伐った竹をそのまま使い、廃棄処理量を軽減する為に休憩エリア横に竹デッキを作り始めました。

3日には葛飾区からの一般参加の若者二人、竹酢液を含んだ男性用化粧品の販売をしているそうので原点的竹を体験したいとのこと。体育会系のようなノリでカケヤで竹割する勢いには年齢差を感じることにしきりでした。

報告：山根泰裕

## 第17回小机城址市民の森

11月7日、第17回小机城址市民の森竹灯籠まつりが開催されました。今年も例年と違いコロナ禍中での開催となり、いろいろ制約のある中で、計画・実行され予想以上のお客様の来場(1324名)をいただき終了することができました。

9月4日に間伐する竹を全エリアから選定しマーキングを終え、9月6日から竹取協力隊による間伐作業が始まりました。間伐は途中台風14号による雨の日もありましたが5日間をかけ全数伐り終りました。

10月11日から竹灯籠作りとなり、1日は雨の中ブルーシートの屋根の下で製作となりましたが、今年も全般的に天候に恵まれ昨年のような台風の影響は少なく、3日で予定の3500本を作り終えました。その後、10月24日から3日に分け設置

### 竹灯籠まつり

をしました。

コロナ禍中での作業であり1時間の時短でしたが、予定の日程通り進めることができました。また、コロナ禍での開催ということでも、小・中学校生徒の製作、竹製品・ドリンク・かつぼ酒等の販売、尺八演奏の中止、それに写真撮影禁止等ありますが、反面感染症防止対策として、ソーシャルディスタンスの路面標示(白粘着布テープの貼付)、受付での検温、マスク着用の確認、神奈川県LEANNEコロナお知らせシステムのQRコード登録のお願い、入場者場内観客数の管理等それらを実施するためのポスター類の設置、告知の準備をした上で開催されました。

当日16時30分開催予定が16時に早められ、3密防止のため、天の川反対のCエリアの竹灯籠の多くをT字路から続く通路に明か



クラブ記録員撮影

り面を向けた為、天の川側に集中することなく通路左右に人が分散しました。筍畑では多くの人が写真撮影をされようとしたが、会員の「3密防止のため写真撮影はご遠慮ください」の声掛けに、渋滞を防止する事ができました。二の丸奥の北う回路を正順路とし、階段が降りやすく、暗がりの中から続くメイソン会場の竹灯籠が前面に広がり素晴らしかったですと多くの方から嬉しいお声をいただきました。大きな混乱もなく、見事に開催できたことは日本の竹ファンクラブの実力として評価されると思います。今回

の経験を糧として更なる進化した竹灯籠まつりが開催できるよう期待します。

報告：荻原三男

### 竹林管理コース

今年も第1回から第3回までの開催日が6月に1回、7月に2回の講座になりました。9月6日 竹林の調査・間伐方法。10月25日 竹灯籠を、まつりで見どころの天の川を



設置、LEDカラーキヤンドル用の竹灯籠の設置。11月21日、竹穂垣の改修。12月13日、竹林の調査と冬の施肥で化成肥料散布をしました。

報告：事務局

### 竹の学校 親子で 竹林を知ろう

11月14日、親子で竹林とふれあいました。秋空の中、折本の農業専用地区を見学。柿・ブルーベリー・イチジク

の果樹園や野菜畑を散策。都筑区は横浜市で農家と自然が一番多く残っている所だと思えました。その後、竹林で竹を切り倒す間伐体験が初の子供達も目を輝かせて取組み、その竹を磨いてコップを作り秋野菜たつぷりの



味噌汁を味わいました。午後は折本園さんの案内で待望のキウイフルーツ狩り、大きな実にビックリしました。子供達にも貴重な体験だったと思います。

報告：久保田れい子

### 竹の学校

#### 筍料理教室再登場

クラブ創設期に行った筍料理教室が復活。講師に荒木典子先生を迎え、11月28日城郷



小机地区センター料理室に会員と一般の参加で開催。竹林の恵みを食する文化を継承し新しい筍料理を紹介する秋レッスン教室。

「1つのレシピが10のレパートリーに！」魔法のような料理は筍と豚肉炒め、筍とコンブのとじ碗など3品。ノコギリ持つ手に包丁！男性陣は勝手の違いに目を丸くしながらも出来栄は絶品の美味しさ。次回は4月、細く長く春と秋に開催します。

報告：事務局

# TAKEFAN NEWS

【寄付金】 小机城址市民の森竹灯籠まつりご来場市民、小机商店街協同組合、小机城址市民の森愛護会

【新入会員紹介】 下線は竹取協力隊入隊者  
天沼建設工業株式会社（横浜市）、荒木典子（横浜市）

【活動報告】 ◆11月21日 間伐材マネジメント研修 脚立作り ◆12月20日 通信冬号NO.84発行

**Cool Takefan** ◆止まらない、いや止められない経済活動は新しい日常となりテレワークやオフィスの需要減など思わぬ方向に舵が切れ、事業継続の業態見直しや変更へ対応が進んでいる◆国会でも新型コロナウイルス感染防止対策の一環で登壇者がマスクを着けない代わりに、終わるたび演台やマイクを消毒していたが時短の為、マスク着用のままに見直された◆神奈川県は事業所の感染症対策取組でLINE社と神奈川県LINEコロナお知らせシステムを開発したが止めないための方法、QRコードの活用とした◆このQRコードは日本の開発技術がISO世界標準になったものでデンソーが基本仕様を無料公開していまや世界中で使われ今年の小机城址竹灯籠まつりでは来場者の8割の方の利用ともなった。（事務局）

## 予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動  
※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

1月10日(日) 協力隊	横浜国際プール(隣接地) 北山田どんど焼き協力 9:00~13:30
1月12日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00~15:00
1月14日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐と冬の施肥 10:00~15:00
1月16日(土) 援農隊	都筑折本 竹林の間伐 10:00~15:00
1月17日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐・竹垣作り 10:00~15:00
1月24日(日) 協力隊	小机城址市民の森 10:00~12:00 竹灯籠処理と四ツ目垣改修(AM)
1月26日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00~15:00
1月28日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐と竹垣作り 10:00~15:00
1月31日(日) 協力隊	小机城址市民の森 10:00~15:00 間伐と竹穂垣改修(四ツ目垣)
2月6日(土) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00~15:00
2月7日(日) 協力隊 学校菅	小机城址市民の森 10:00~15:00 竹穂垣改修及び間伐 竹林の間伐・竹垣改修(四ツ目垣)
2月9日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00~15:00
2月10日(水) 援農隊	都筑折本 竹林の間伐 10:00~12:00
2月11日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
2月14日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐 10:00~15:00

2月16日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の整備 10:00~15:00
2月25日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
3月6日(土) 協力隊 学校菅	小机城址市民の森 竹林の間伐 10:00~15:00 筍の保護柵と保護棒立て 10:00~12:00 竹の活用と修了式 13:00~15:00
3月7日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の整備 10:00~15:00
3月9日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00~15:00
3月11日(木) 協力隊	中井町 竹林の整備 10:00~15:00
3月13日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐 10:00~15:00
3月14日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐 10:00~15:00
3月17日(水) 援農隊	都筑折本 竹林の間伐 10:00~12:00
3月20日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠作り(予定) 10:00~15:00
3月21日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠作り(予定) 10:00~15:00
3月23日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の整備 10:00~15:00
3月25日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
3月27日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠設置(予定) 10:00~15:00
3月28日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠設置(予定) 10:00~15:00 まつり予定 4/10(土)

竹に関する情報がありましたら、どんなことでも結構です。下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993